

■出口なを 宗教家。前半生を悲惨の中に送り、その極限に達した時に神憑りし、大本教を開いた。

でぐちなお

・・・・・・1836 = 丹波国福知山で、大工桐村五郎三郎と妻そよの長女に生まれる。

大塩平八郎乱1837 = 1歳：

阿部正弘首座1845 = 9歳：

孝明天皇・・・・1846 = 10歳：貧しさゆえに最初の奉公に出、

以後6年間働く。

ペリー来航・1853 = 17歳：奉公先から桐村家に戻ってまもなく、子どものいない叔母出口ゆりの養女になるが、半年で実家に戻る。

開国開港・・・・1854 = 18歳：財産をめぐるトラブルからゆりが自殺し、まもなく叔母の死霊にとりつかれる。

安政大地震・1855 = 19歳：再び出口家をつぎ、四方豊助(出口政五郎)を婿とし、

11人の子を生み、3人の子を失い、3男5女を育てるが、

桜田門外変・1860 = 24歳：

8月18日政変 1863 = 27歳：

明治維新・・・・1868 = 32歳：

学問のすすめ1872 = 36歳：夫政五郎の放蕩で家財いっさいを失い、再び貧乏のどん底に落ちる。

明治6年政変 1873 = 37歳：

明治14年政変1881 = 45歳：

内閣発足・・・・1885 = 49歳：さらに政五郎は、半身不随となった。死別？。

生活を支えるために一膳飯屋、まんじゅう屋、さらにぼろ買の仕事にまで手を染め、こじき寸前の生活まで落ち、長男の自殺未遂、家出など悲しい体験をくりかえすうち、

帝国憲法発布1889 = 53歳：

帝国議会始・1890 = 54歳：三女ひさに続いて、

足尾鉾毒始・1891 = 55歳：長女よねが発狂。2人の娘のあいつが発狂は、長年の過酷な人生に疲れ果てたなおに迫いうちをかけ、亀岡の金光教布教師の説く"艮の金神"に救いを求める。

大本教・・・・1892 = 56歳：*心身の疲労が極限状況に達したなおは、突然"われは艮の金神なるぞ。神はなおの体を社として借りたぞよ"と口走った。神がかったなおは、さらに"三千世界一度に開く梅の花、艮の金神の世になりたぞよ.....艮の金神現われて、世の立替を致すぞよ"と、世界の"大立替"を予言した。(大本教の開教)

日清戦争始・1894 = 58歳：*金光教の布教師となったが、のち決別して大本教を独立させ、みずからを"艮の金神"と称し、病氣治しを中心とした宗教活動をはじめた。しかし、なぜ病氣が直るのか、なぜ信仰によって幸福になれるのかといった、救いの哲学を生み出すことができず、みずからの体に宿った"艮の金神"を理解し、みずから神の言葉をするした"筆先"を教義として体系化してくれる協力者を求めつづけ、

子規句歌革新1898 = 62歳：上田喜三郎(出口王仁三郎)と出会い、

Bushidou・・・・1899 = 63歳：王仁三郎は大本教へ入会。

ビブア/国産化・1900 = 64歳：なおの五女すみと結婚し、

日露戦争終・1905 = 69歳：

5年をかけて教義の体系化に力をそそいだ。

アライ 創刊・1908 = 72歳：金明霊学会を大日本修斎会(のちの大本教)に改組。*こうしてなおは、正式に大本教を開教して王仁三郎とともにその基礎を築き、信徒は各地で増加。

明治天皇没・1912 = 76歳：

民本主義・・・・1916 = 80歳：皇道大本と改称後、

ロシア革命・1917 = 81歳：

本格政党内閣1918 = 82歳：没した。

平凡社百科事典、「目でみる日本人物百科」、「日本の女性」、